



## さいたま市シニアユニバーシティー岩槻校第9期校友会会報第1号

会長挨拶 「班活のお勧め」 瀧田和雄

9期の皆様。今年度はご存知コロナ禍のため、連合会、岩協そして我が9期も殆どの行事の開催が中止となりました。楽しみにしておりました文化祭も学習講演会も開催することができない状態です。唯一、開催が決まっておりますのが9月24日のGG大会であります。今年度になってから、皆様にお目に掛れたのがコンサートと落語鑑賞の2回だけでした。我々シニアもそうですが、矢張り顔と顔を会わせてお話をすることが絆を結ぶ大切な行為であると信じております。

私事ですが、これまでシニア大学にお世話になって7年が経過しましたが、結構忙しく過ぎてまいりましたが、今回のコロナ禍により「今日も明日も何も予定がない」という日が4月より続いてまいりました。やっと最近幾らか予定が入るようになりましたがそれでも例年の三分の一にも満たない状態です。それに加えてこの猛暑でした。ほとんど24時間冷房のお世話になっておりました。8月が過ぎ9月になってやっと猛暑日から逃れられた状態です。

新聞などを紐解きますとリーマンショックの数倍の世界的经济の落ち込みに直面しております。コロナワクチンでも早急に開発され、世界的にコロナ禍の終焉でも宣言されなければ現在のこのような状況がいつまで続くのか先の見通せない今日この頃であります。

そこで私は百折不撓（ひやくせつふとう）という言葉思い出しました。それはどんな困難にも屈しない。百篇倒れたら百篇立ち上がる。それが人類のDNAである。このDNAをフルに発揮して、われわれもこの新型コロナウイルス禍を克服したいものであります。必ず出来ます。そして又「鞠躬尽力、死して後已まん」と言う言葉を皆様にお贈りしたいのであります。これは建興六（二二八）年、諸葛孔明は最後の出陣に臨み、軍隊を繰り出す決意の書「後出師の表」を皇帝劉禪に奉じた。その中の一文である。鞠は毬のこと。体を毬のように縮めて全力を尽くすのが鞠躬尽力の意であります。それを死ぬまで続けてやまない、というのであります。我々高齢者は中々この年になって「世のため人の為」といった活動はできませんが、少しでも他人の世話にならないように自分のことは自分でするように心がけたいものであります。

でも、皆さん。私共がこうして毎月のように全体集会でお会いできることは言葉に言い尽くせないほど幸せなのであります。お互いに健康で家庭内に特段の変化も無く元気で参加できることが何のものにも代えがたい幸せなのであります。私共は本当にラッキーとしか言えません。でも考えてみますに、コロナと懸命に戦っておられる医療従事者のことを忘れることはできません。我が身がいつコロナに感染してもおかしくない状況におかれている医師・看護師他の皆さんに私どもは何らかの形で報いることを忘れてはならないと思っておりますが如何でしょうか。どうすれば幾らかでも報いることができるかを一緒に考えてみてはいかがでしょうか。

最後になりますが、中々思うような活動が出来ないのが大変残念ではあります。どうか班単位で班活を考えてみてはいかがでしょうか。三密にならないように近郊を散策なさるとか、少人数での集会を是非なさってみてはいかがでしょうか。そして会員同士の絆を一層強めていただきたく心よりお願い申し上げます。そして後期高齢者の私どもは一寸した怪我でも大事に至る可能性がありますので、日々の行動には十分注意して参りましょう。よろしく申し上げます。

## AKT バンドコンサート

我が9期の第1回の全体集会在6月16日ワッツ音楽室で開催され、3か月ぶりの例会にどれだけの出席者がいるか大変心配したが、ほとんど欠席者もなく元気な顔合わせが出来たことは誠に嬉しい限りであった。全体集会の後のコンサートは、今回はギター2本とベースの三人による「わが青春のフォークソング」を中心に多彩な懐メロを堪能。本来であると生バンドをバックに楽しむ予定であったが、三密を避けるため演奏を楽しむにとどまったのは誠に残念であった。



A(アキオさん)



K(ケイコさん)



T(タカシさん)



Akihiro K Keiko T  
バンド  
コンサート



全体集会

## 素人落語鑑賞会

今年で6回目となる恒例の「素人落語鑑賞会」が7月23日に開催された。今回はメンバーが少し入れ替わり4人の名人の共演となった。11期と12期から「是非参加させてほしい」との要望があり総勢15名の方が来られ名人芸を堪能して帰られた。各期でもプログラムに取り入れたいとの意向があった。こうした横の繋がりがこれからの岩協の発展につながることを期待したい。



鹿鳴家ひで坊  
「青菊」



鹿鳴家酒豪  
「転宅」



橘亭満点  
「鈴ヶ薮」



五六亭夕々  
「読書の時間」



# 梅 天 閑 詠

投稿 3班 田村 ○○

2年前から漢詩作成を学んでいます。この詩6月に作り内田茂先生に添削指導をしていただいたものです。

お題を戴いたときすぐに浮かんだのは我が家の近くの田圃の蛙たちの声でした。咲き終えて地に落ちてもお香るくちなしの花もこの季節なので作法のきまりと格闘しながら詩にいれてみました。

天閑詠梅

ばいてんかんえい  
梅天閑詠

細雨晴間月色娟

さいう はれまげつしよくうつくし  
細雨の晴間月色娟

晩蛙閣々掩青田

ばんあかくかくせい でん おほ  
晩蛙閣々青田を掩ふ

梔花浄地芳香漾

しかち きよ ほうこうただよ  
梔花地に浄く芳香漾ひ

一片詩章黙坐編

いっぺん ししょうもくざ あむ  
一片の詩章黙坐し編む

「無 題」 3班 中山 ○○

鋤を振る。

鋤を振る、ひたすら鋤を振る。冬に白菜を食べる為、背中に熱波を浴びながら、間もなく白菜の種を播く。その為には、今、畑を作っておかないと、苦土石灰撒き耕す。家庭菜園と言えども手抜きは出来ない！冬になると取れたての白菜でお新香を作り、日本酒を一杯、これがたまらん！

畑を借りてから、早くも40年、私も頑張った、畑も頑張ったが、残念な事に、地主さんの都合により今年で終わることになった。きっと今年の冬は畑に酒を持って行き、今までの思い出にひたりながら、ほろ苦い酒を飲むことになる。野菜を盗まれたり、野良猫に畑を荒らされたり、色々な思い出が頭の中を駆け巡ります。

さて、来年は何をするか？若い時にはオートバイで日本一周をしました。さすがにこの年で出来そうにもありません。一杯飲みながら考えることにしましょう。

パソコンクラブに入会して今年で8年目を迎えます。Word、Excel、インターネット、写真の修整など、多くのことを学んできました。

しかし、授業が終了すれば白紙の状態での次の授業に臨んでおり、講師から「今年で何年目でしたか？」と言われる状況です。

入会当時は15名の会員がおりましたが、現在は講師を除き9名となりました。8年間勉強してもパソコンは分かりませんが、楽しいのは「ランチ会」などです。今日（9月7日）も授業が終了後、行き付けの寿司店で楽しいコミュニケーションができました。つたない部長ですが、今後共よろしくお願ひいたします。



今夏は例年に比べ全く異なった生活環境です。例年この季節お盆で故郷の墓参りや、家族旅行で1年の中でも楽しい時期です。

昨年末中国武漢で発症した「新型コロナウイルス感染症」は世界的に蔓延し 2300 万人以上、日本でも 6 万人以上の人々が感染している現状ですので自粛の日々です。

新型コロナに対する日本政府の対応は、初期の段階から後手にまわり、特に PCR 検査問題等に禍根を残しました。昨今の日本は以前の感染者発生領域に比べ、家族内感染や、職場、学校内感染のクラスターで幅広い領域で患者数が増え、先の日本感染症学会で理事長が、国内の流行について「第2波の真ただ中」と見解を述べています。それに対し政府は、第2波の定義があるわけでないとして説明し、現状を「第2波」と認定していません。定義が有る無しに関わらず、私は第2波と思いますし、今冬には第3波に見舞われ、例年流行するインフルエンザと合わせ医療機関に混乱が起き、医療崩壊が心配です。現在の感染者増は7月後半から実施した、GO TO トラベルキャンペーンが影響しているのかもしれませんが。GO TO キャンペーンは落ち込んだ経済回復の一策と理解できますが、実施時期について国と国民との間の乖離が大で、現状ではこの施策は必ずしも成功とは言えません。国は国民の目線に立って諸施策を実行せねばならない立場なのに国民主体を忘れ、何かちぐはぐで心もとなく思います。

一般的にコロナウイルスは暑い季節に感染力が弱いと言われていますが、新型コロナウイルスはその範疇から外れ、感染者が増えている以上未知の部分が多々あるのでしょうか。

国民は自粛を要請され、日々の生活に多々制約され、何時になったら発症前の生活に戻れるかと考えますが、新型コロナに対してのワクチン、治療薬の開発が不可欠な条件でまだ時間が必要と思います。

世界の製薬業界はワクチンと治療薬の開発に取り組み、治療薬より先行しているワクチンは一部の会社です。すでに第Ⅲ相の臨床試験に入り、年末から来年の中頃には実用化される可能性があると言われ、開発成功なら厚生労働省は米国ファイザー社から 6000 万人分、英国アストラゼネカ社から 1 億 2000 万人のワクチン供給を受けると報道しています。一般的にワクチンの開発は生菌を使い 5～10 年の時間がかかりますが、今回のものは新型コロナウイルスの遺伝子組み換えから作る新しいタイプのもので開発時間が短縮されています。第Ⅲ相試験で有効性と、安全性を確認するのですが、海外で開発されたワクチンがそのまま日本人に使用する事は問題で、「種」が異なれば有効性、安全性が同一とは必ずしも言えません。日本人に使用して有効性、安全性の確認を何らかの方法でせねばならないと思います。

明けない夜はないと言われ、人類は必ず見えない敵に打ち勝つ日が来ることに間違いありません。With コロナの新しい生活様式の中で「三密」を守り個々人が自粛し時間を待つことはやむを得ない現実です。とは言え、高齢の私はその時まで命の灯が宿っているかは???です。

### 皆様の温かい支援をお願いします

「ふるさと応援—新型コロナウイルス感染症対策さいたま応援寄附—コロナと戦う人たちへ—」

さいたま市シニア大学連合会は、今回猛威を振るっております新型コロナウイルス感染防止に直接的な対応は出来ませんが、何か貢献出来るものは無いかを考えた時、さいたま市「ふるさと応援」寄附の一環として、支援先を患者の看護に命を懸けて懸命に戦っている病院・医師・看護師などコロナと戦う人々を対象に寄附することを確認し、連合会としてその主旨に賛同し取組むこととしました。どうかこの趣旨をご理解いただきご寄附をお願い申し上げます。